

肝炎ウイルスを放置するのは、
肝臓に爆弾を抱えているようなもの。

市町村が提供している
肝炎ウイルス検査については、所在地の自治体に
お問い合わせください。

健保組合等でも、一定条件を満たす希望者に対し、
肝炎ウイルス検査を提供している場合があります。
ご利用の組合、協会にご確認下さい。



**肝炎ウイルス検査は
肝がんのリスクが分かります。**

肝炎ウイルス検査は
大切な社員を



肝がんから守る

第一歩です！

もっと詳しい情報が必要な方は、以下のサイトをご参照ください。

肝炎について

◎厚生労働省の普及啓発プロジェクト

知って肝炎

検索

<http://www.kanen.org/>

◎肝炎の症状、検査、治療について情報提供

肝炎情報センター

検索

<http://www.kanen.ncgm.go.jp/>

肝炎
ウイルス検査の
導入方法

◎職域のための肝炎ウイルス検査導入マニュアル

肝炎セキュリティ

検索

[http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/sanhoken/
kan-en/index.html](http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/sanhoken/kan-en/index.html)



肝炎ってどんな病気？

■ 肝炎は日本最大の感染症！

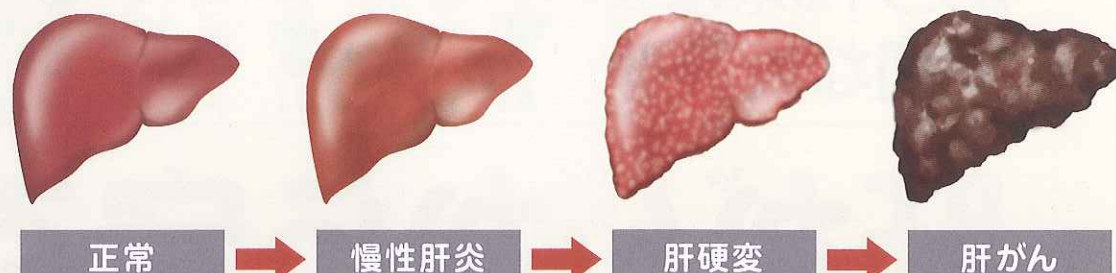
肝がんの主な原因である、肝炎ウイルスに感染している人は、日本に210～275万人*いると言われています。

*引用：田中純子「肝炎ウイルスキャリアと患者数の動向について」2011年調査報告

■ 肝炎の恐ろしさは、自覚症状がないこと！

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、気付かないうちに肝炎が進行し、自覚症状がないまま、肝硬変、肝がんに進んでしまうこともあります。

肝炎ウイルスから発症する病気



場合によっては、肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

■ 働きながら治療できる肝炎。 それなのに、感染を知らず、放置している 働き盛りの世代が大勢います！

治療法の進歩により、肝炎は働きながらほとんど休まず治療することが可能になりました。それなのに、「忙しさ」を理由に検査を受けず、手遅れになってしまう働き盛りの世代が多いのが現状です。

H社(小売業)

当事業所では、毎年200名超が検査を受けますが、いつも1～2人の陽性者が見つかり、治療を始めています。



検査は1回！簡単です

■ 一生に1度の検査で十分です。

肝炎ウイルスは、通常の生活で新たに感染することはほとんどありません。これまでに検査を受けたことがない社員に、一度だけ肝炎ウイルス検査を実施することで、肝がんのリスクがわかります。

M社(製造業)

実施当初は従業員が対象でしたが、既に全員が受けたので、現在では雇入時健診のみの実施となりました。

■ 肝炎ウイルス検査は簡単な血液検査。

採血は短時間で済み、数週間で結果が出ます。

肝機能検査では
肝炎は
わかりません



さまざまな実施法

■ ご自身の職場に適した方法が選べます。

事業所が独自で実施
健康診断の追加項目とする

健保組合等と連携して実施
(健保組合によって提供状況は異なります)

自治体の検診事業を活用
(自治体によって方法が異なります)

肝炎ウイルス検査を導入

本人任せではなく、組織としての支援体制を 整えることが経営者のすべきこと。

株式会社SUMCO 取締役専務執行役員 九州事業所長 平本 一男 氏



当事業所では「安全と健康はすべてに優先する」を安全衛生方針とし、メンタルヘルスをはじめ様々な活動を行っていますが、事業所のある佐賀県は肝がんの死亡率が全国で最も高いことから、ここ数年、肝炎ウイルス検査を積極的に導入しています。雇入時健診での実施に加え、定期健診時にも地域の検診事業を活用するなどし、既に、佐賀県在住の従業員の98%が

検査を受けています。健康対策は、従業員個人の尊重はもちろんのこと、職場全体のパフォーマンス向上のためにも必須です。肝炎も、早期で治療した場合とそうでない場合とでは、労働の質が大きく違ってきます。

こうした対策は後手に回らないことが大切で、本人に任せきりにするのではなく、組織としての支援体制を整えることが、経営者の責務だと考えています。